

# 平成25年度食品の安全に関する市民（県民）アンケート集計結果報告書

## 1 調査目的

「平成26年度前橋市食品衛生監視指導計画」の基礎資料として、市民（県民）の食品の安全に関する意識を把握するために実施した。

## 2 調査方法

食品関係イベント開催時に参加者に配布した。

| 開催日      | イベント名          |
|----------|----------------|
| H25.7.25 | 一日食品衛生監視員      |
| H25.7.30 | 食中毒予防講演会       |
| H25.9.29 | 楽しく学ぼうきのご塾2013 |
| H25.11.3 | 前橋市健康フェスタ      |

## 3 回収数 461（参考 前年は343）

## 4 結果の概要

### 【手洗いについて】

衛生管理の基本である手洗いについては、半数以上の人食事前、調理の前、トイレの後には石けんで洗っていることがわかった。

### 【食品の安全性について】

食品の安全性については、約6割の人が多少不安を感じていることがわかった。放射性物質による食品汚染をはじめ、食中毒や輸入食品及び食品添加物等が不安の原因となっている。流通食品は検査されているので安全だということ、肉の生食は危ないということは認識されているが、自家栽培の農産物等の検査が不十分だということや放射性物質の健康被害についての知識不足が不安を払拭しきれない要因と考えられる。

また、農薬や食品添加物等の使用はできるだけ少なくし、これらについての基礎知識を得たいとの住民要望がうかがえた。

### 【食品の表示について】

食品購入時には、消費期限・賞味期限や原産地・原産国を参考にしている人が多い。

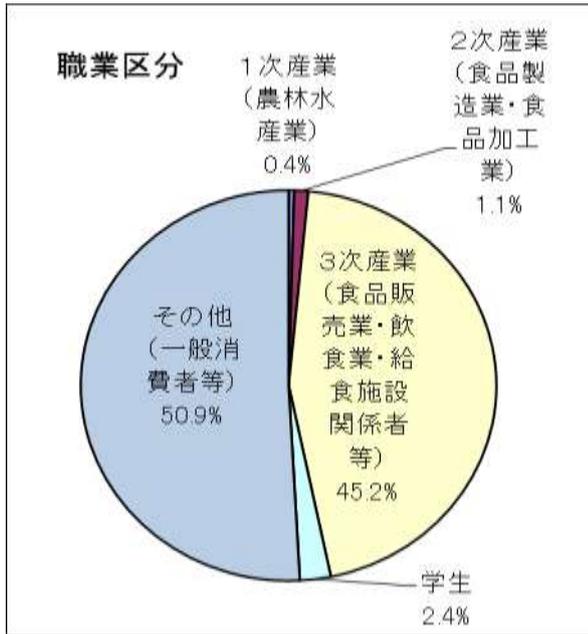
また、自分の体質に合った栄養成分を強調表示しているものを選ぶ傾向にあることがわかった。

### 【保健所の業務について】

「前橋市食品衛生監視指導計画」はあまり知られていないことがわかった。行政へは、輸入食品及び農薬の使用・残留に関する農作物の安全性を確保してほしいとの要望が多かった。食材の虚偽表示問題が発覚する前にアンケートを実施したためか、食品表示の適正化の推進についての要望はあまり多くなかった。また、食物アレルギー対策についての要望も少なかった。

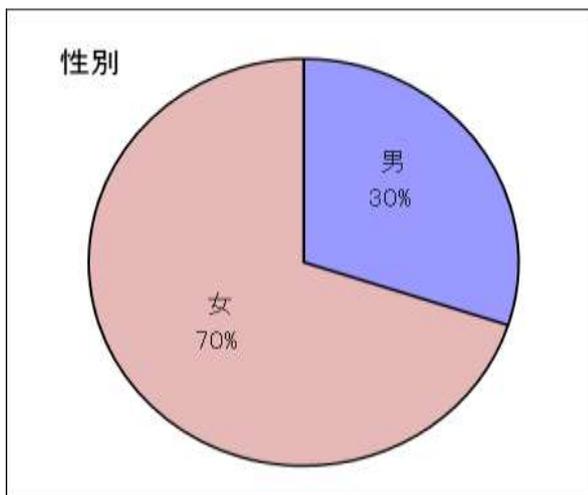
## 5 集計結果

### (1) 回答者について



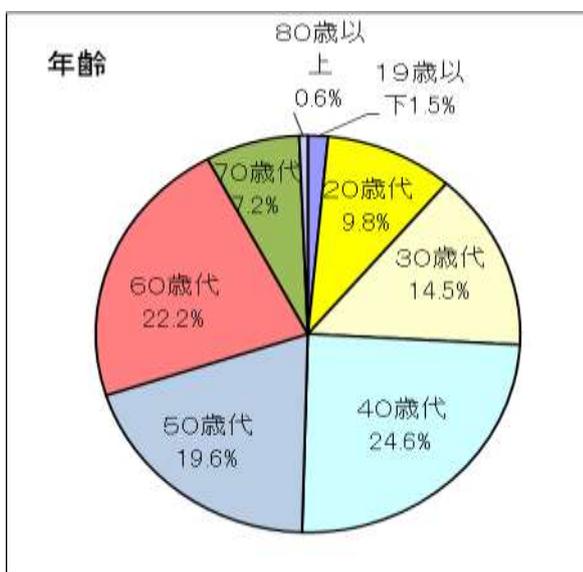
#### 【問 1】 職業区分

|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| 1次産業 (農林水産業)                       | 2   |
| 2次産業 (食品製造業)<br>(食品加工業)            | 5   |
| 3次産業 (食品販売業)<br>(飲食業)<br>(給食施設関係者) | 208 |
| 学生                                 | 12  |
| その他 (一般消費者等)                       | 234 |
| 合計                                 | 461 |



#### 【問 2】 性別

|    |     |
|----|-----|
| 男  | 138 |
| 女  | 323 |
| 合計 | 461 |

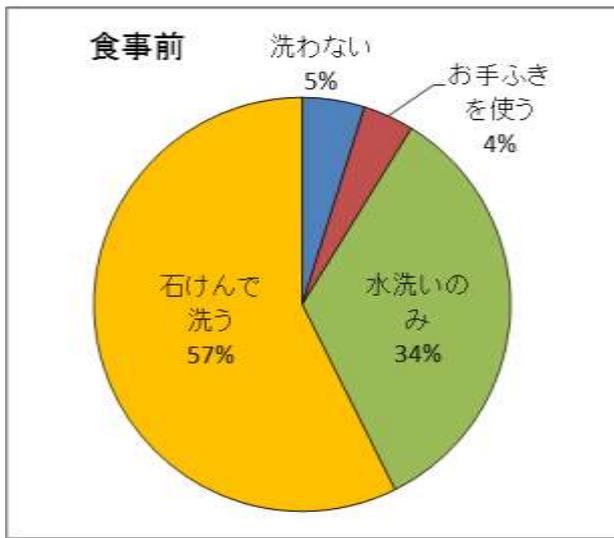


#### 【問 3】 年齢

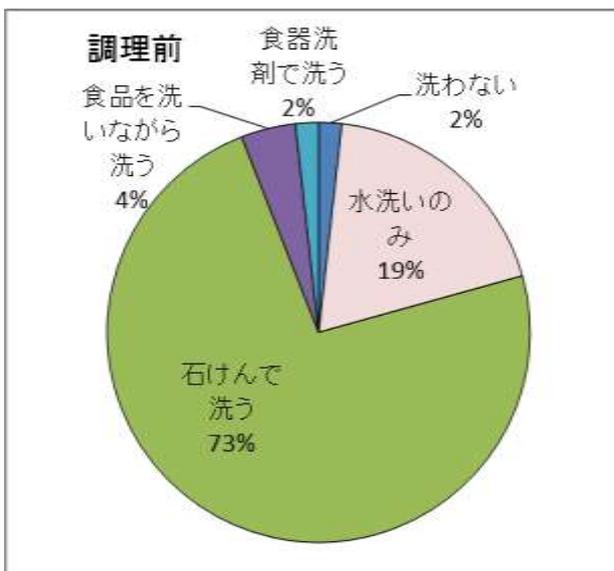
|       |     |
|-------|-----|
| 19歳以下 | 7   |
| 20歳代  | 46  |
| 30歳代  | 67  |
| 40歳代  | 113 |
| 50歳代  | 90  |
| 60歳代  | 102 |
| 70歳代  | 33  |
| 80歳以上 | 3   |
| 合計    | 461 |

## (2)手洗いについて

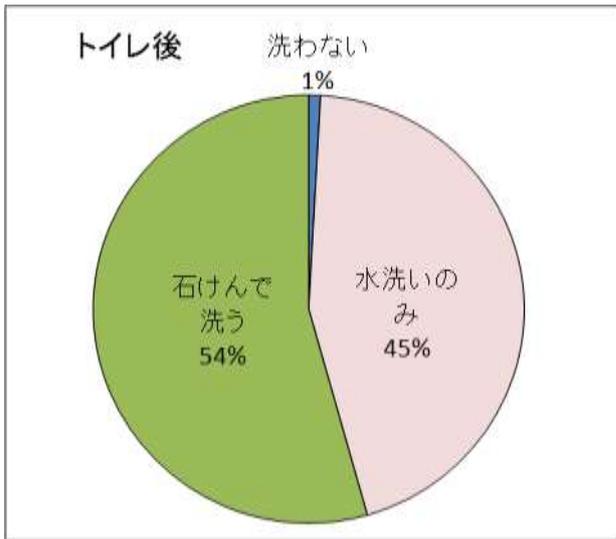
【問4】あなたは次のとき、どのように手洗いをしますか。



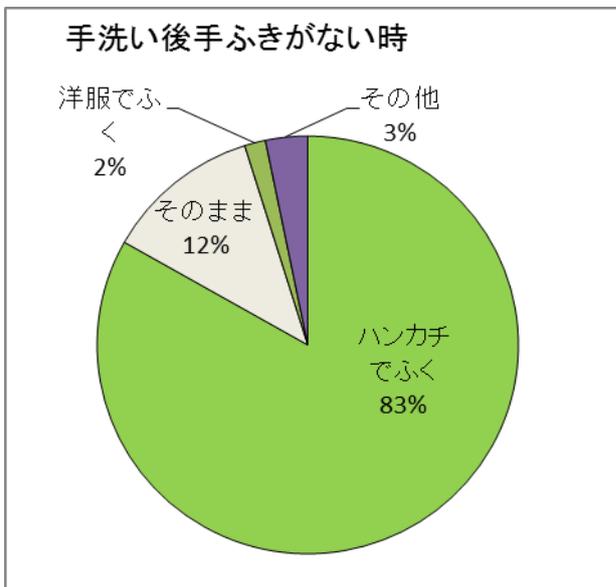
食事の前は9割の人が手を洗い、うち約6割の人が石けんを使って洗っている。



調理の前は9割以上の人が手を洗い、うち7割以上の人が石けんを使って洗っている。



トイレの後はほとんどの人が手を洗い、うち5割以上の方が石けんを使って洗っている。

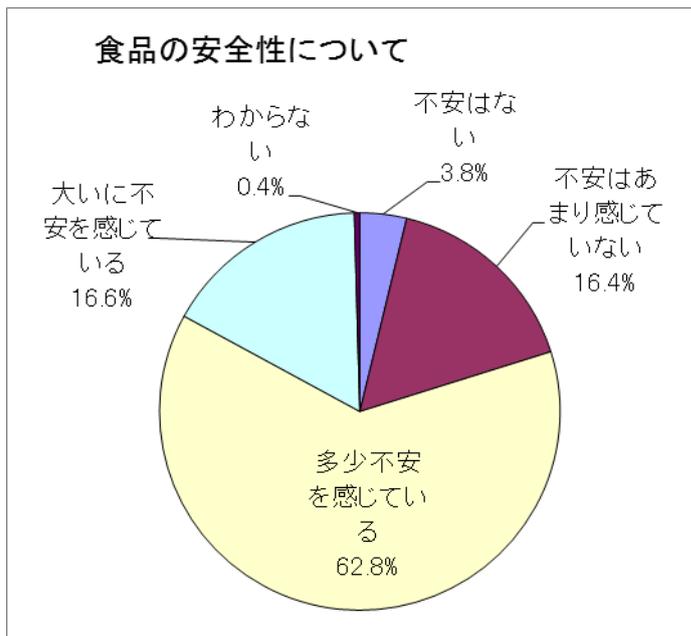


手洗い後、手ふきが備えられていない場合には、8割以上の方がハンカチで手をふいている。

「その他」はペーパータオルやティッシュペーパーでふいている。

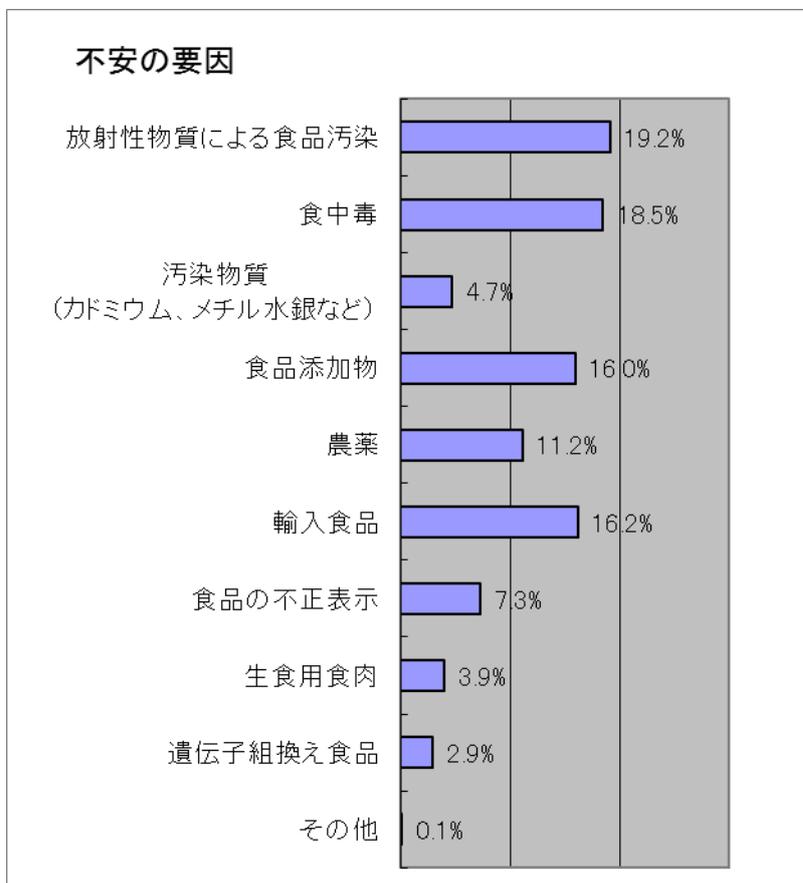
### (3)食品の安全性について

【問5】あなたは食品の安全性についてどのように感じていますか。



食品の安全性について、約8割の人が不安を感じている。

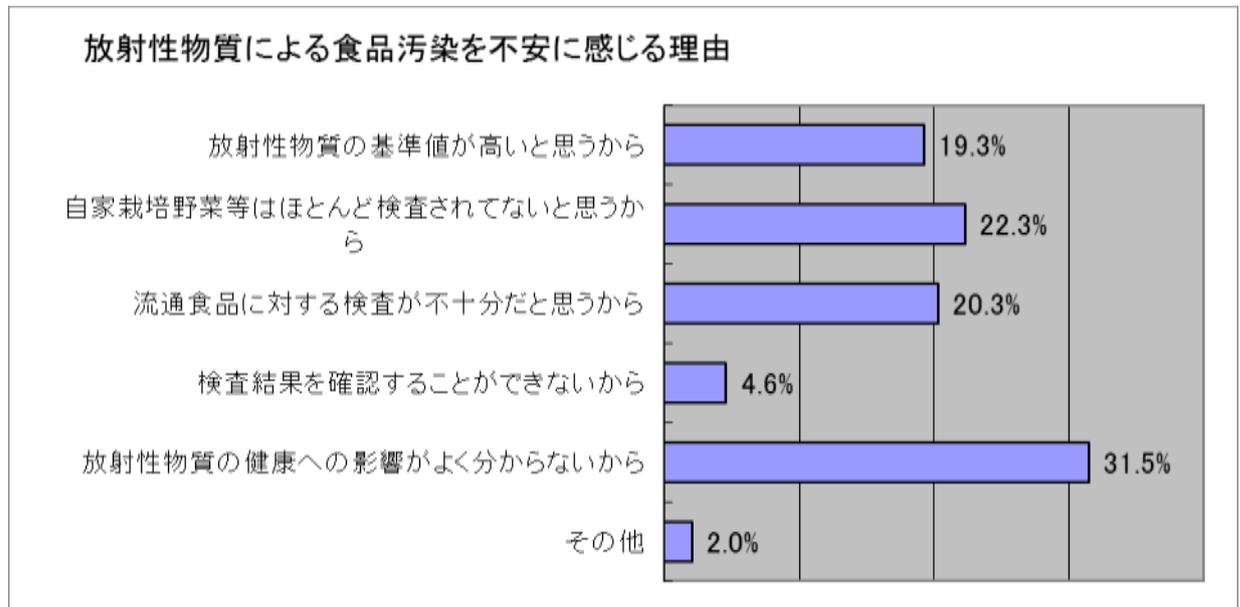
【問6】問5において「多少不安を感じている」もしくは「大いに不安を感じている」のいずれかを選んだ方にお聞きします。次のどの事項について、特に不安を感じていますか。3つまで選んでください。



「放射性物質による食品汚染」を選んだ人が最も多く、次に「食中毒」が多い。

「その他」はカビ、毒。

【問7】問6において「放射性物質による食品汚染」を選んだ方にお聞きします。放射性物質による食品汚染を不安に感じるのはなぜですか。あなたの考えに最も近いと思うものを1つ選んでください。

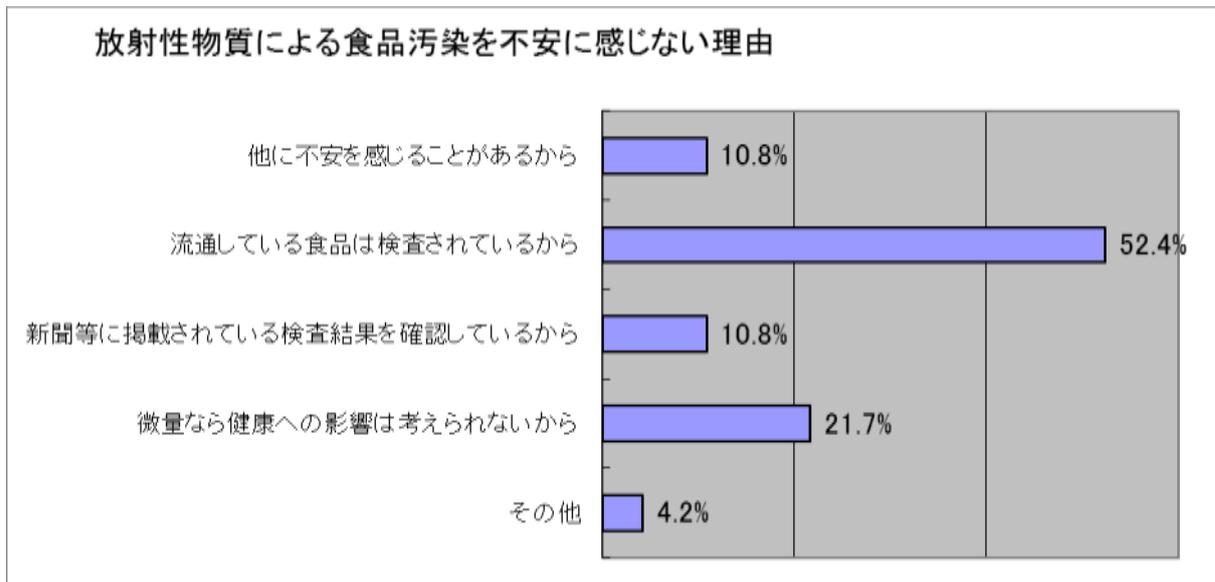


「放射性物質の健康への影響がよく分からないから」を選んだ人が最も多い。

「その他」で寄せられたご意見（ほぼ原文）

- ・行政不信。真実が語られていないと思う。
- ・発表や情報が正しいかどうか判断できないから。
- ・海水で汚染された魚を摂取しているかもしれないから。

【問 8】問 6 において「放射性物質による食品汚染」を選ばなかった方にお聞きします。放射性物質による食品汚染を選ばなかったのはなぜですか。あなたの考えに最も近いと思うものを 1 つ選んでください。

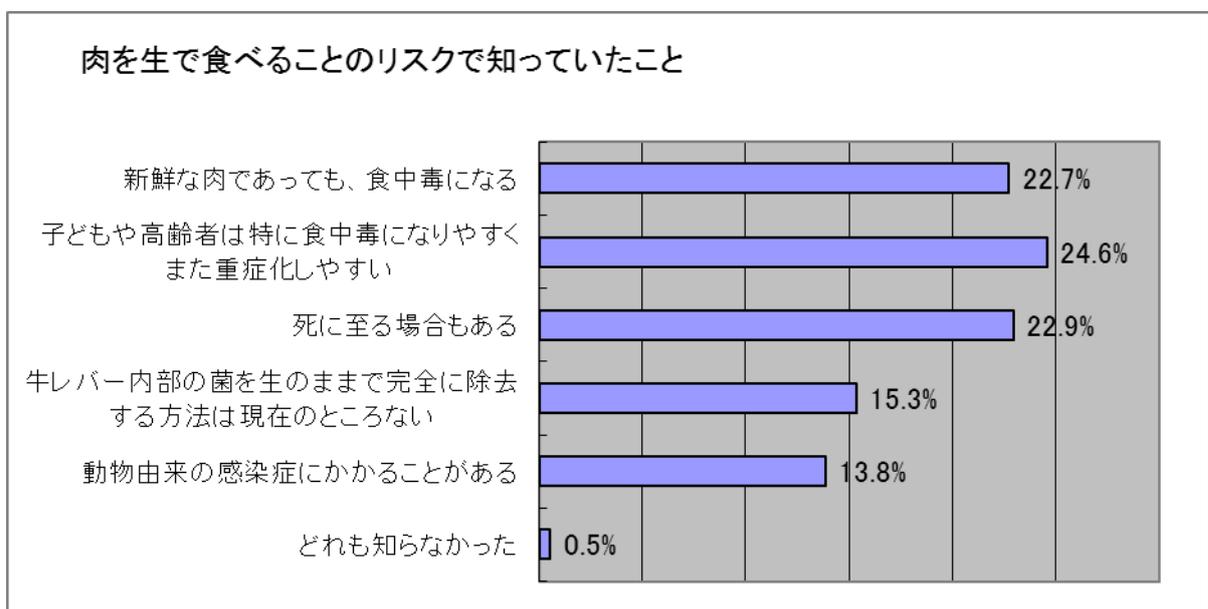


「流通している食品は検査されているから」を選んだ人が最も多い。

「その他」で寄せられたご意見（ほぼ原文）

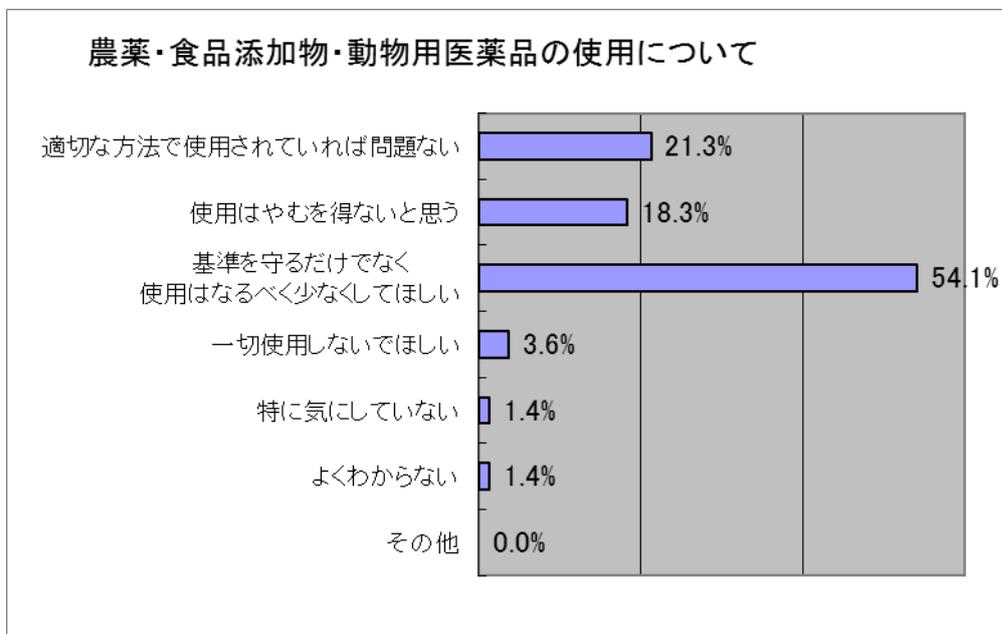
- ・市で行っている検査で検出されたことがないから。
- ・検査されている物を使っているから。
- ・放射線物質汚染についてわからないことが多く、具体的な害についてはぴんとこない。
- ・あきらめるしかない。
- ・上位 3 つしか選べなかったから。

【問 9】肉（内臓を含む）を生で食べることについて、次のようなリスクなどがありますが、知っていたことを全て選んでください。



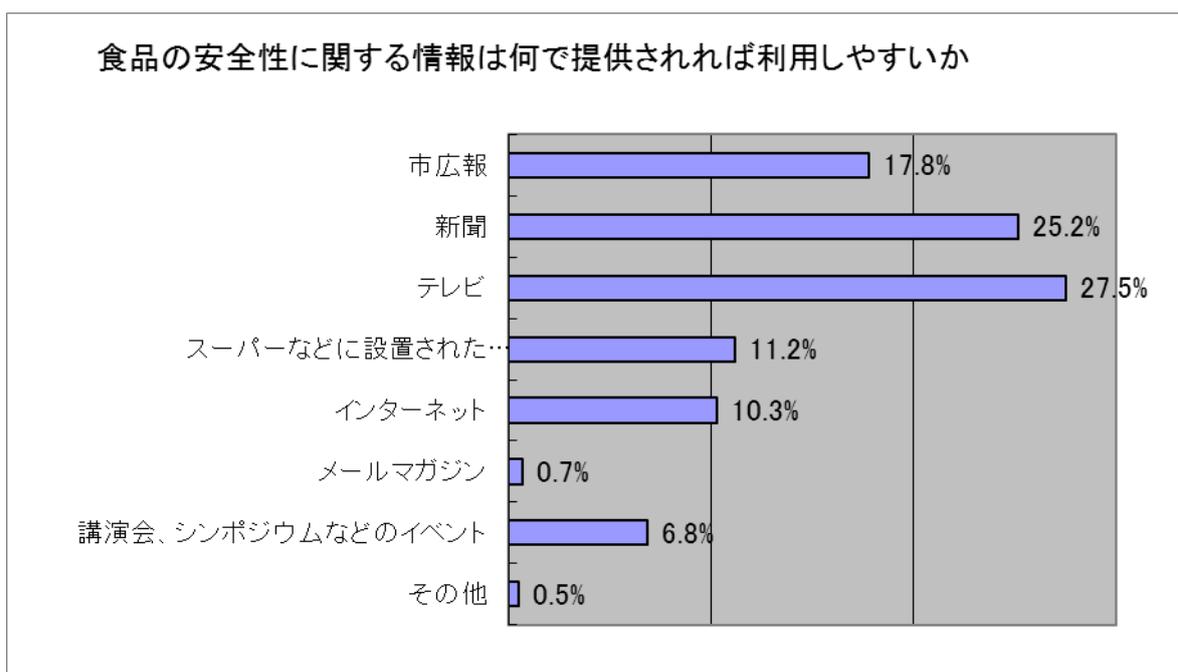
「子どもや高齢者は特に食中毒になりやすく、また重症化しやすい」を選んだ人が最も多い。「新鮮な肉であっても、食中毒になる」と「死に至る場合もある」ことを知っている人も多い。

【問 10】 農薬・食品添加物・動物用医薬品の使用について、あなたの考えに最も近いと思うものを1つ選んでください。



「基準を守るだけでなく、使用はなるべく少なくしてほしい」が最も多い。

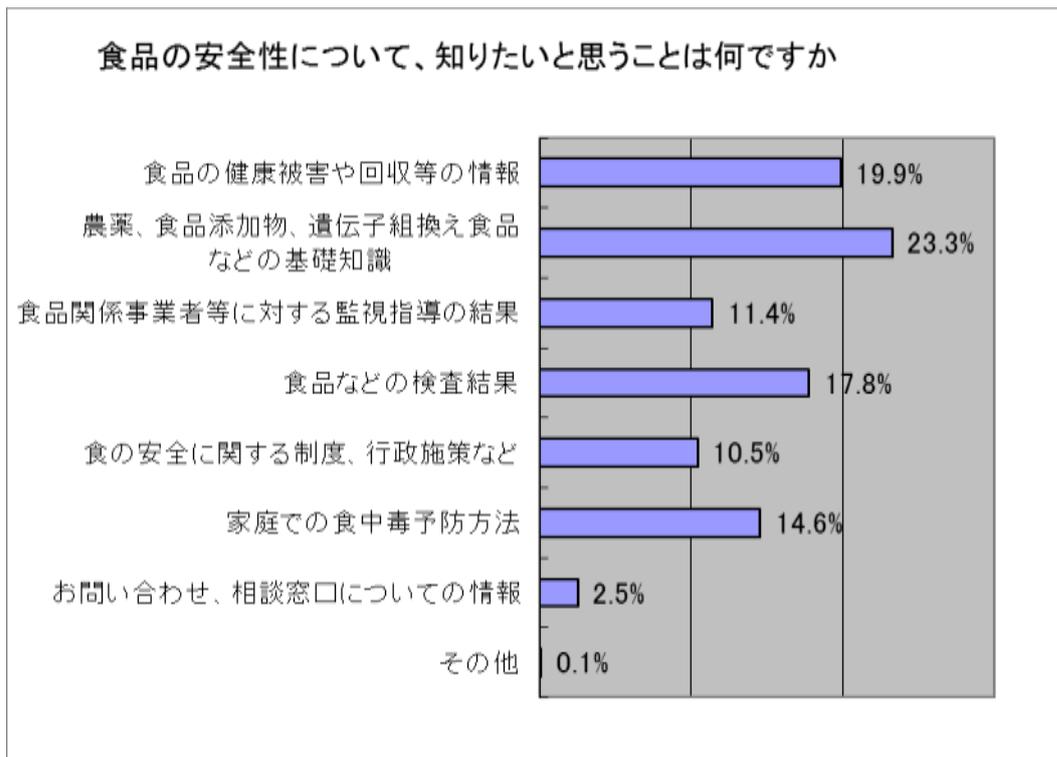
【問 11】 食品の安全性に関する情報は、どのような方法で提供されれば利用しやすいですか。3つまで選んでください。



「テレビ」が最も多く、次に「新聞」が多い。

「その他」は本、自治会紙。

【問 12】 食品の安全性について、もっと知りたいと思うことは何ですか。3つまで選んでください。



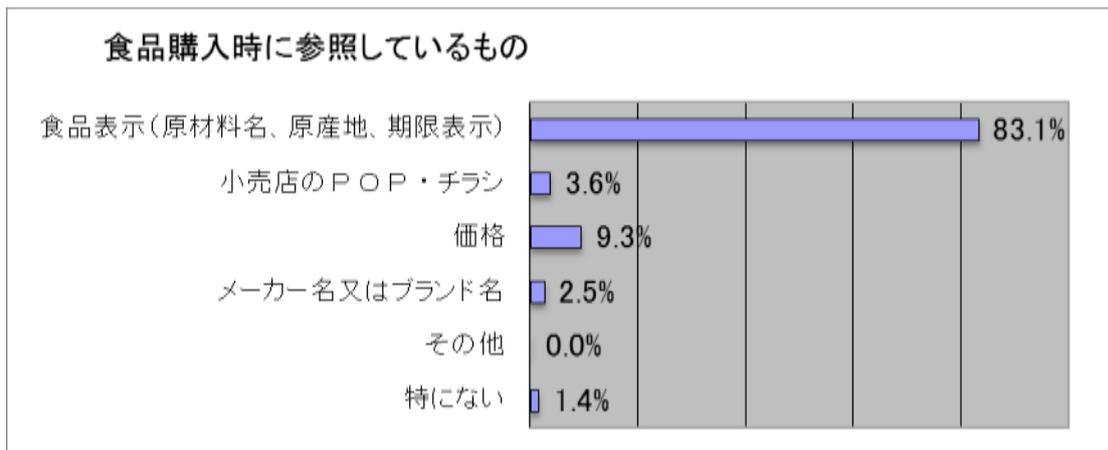
「農薬・食品添加物・遺伝子組換え食品などの基礎知識」が最も多く、次に「食品の健康被害や回収等の情報」が多い。

「その他」で寄せられたご意見（ほぼ原文）

- ・福島で地下水から高い濃度の放射能が検出されているが、海岸沿いでとれるワカメ、魚などは汚染されていないのでしょうか。またワカメなどは高知産と行って出回ったりしていないのでしょうか。

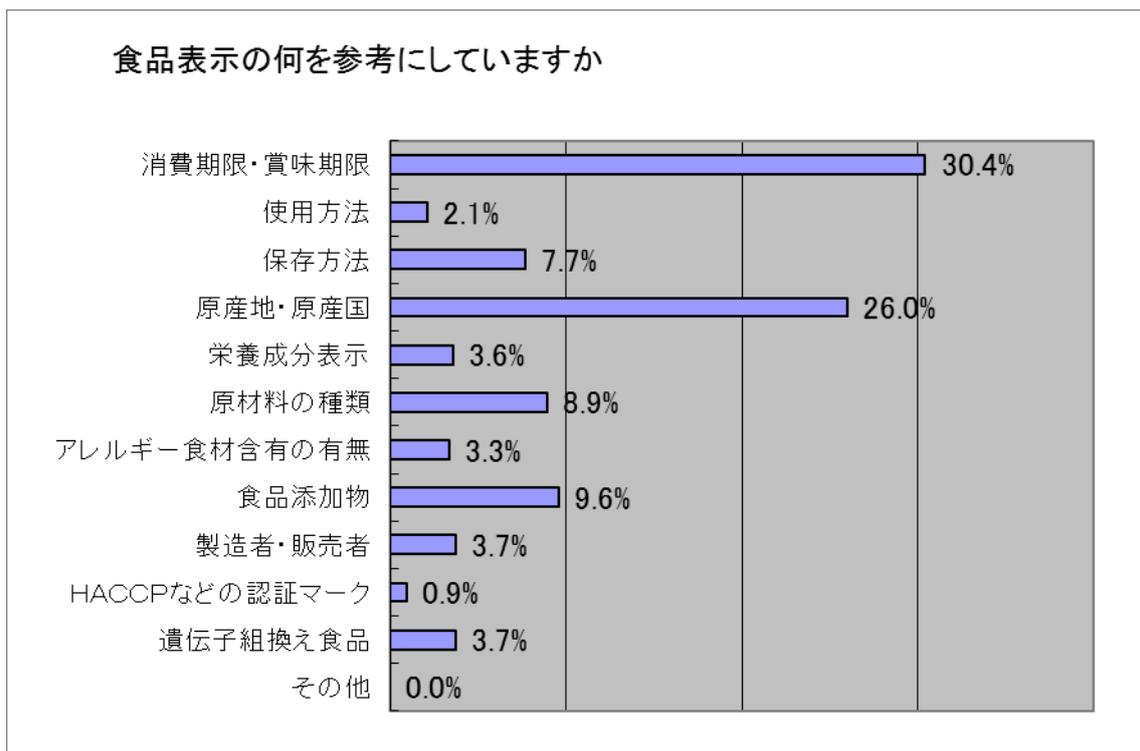
#### (4)食品の表示について

【問 13】 食品購入時、あなたが参考にしているものを1つお選びください。



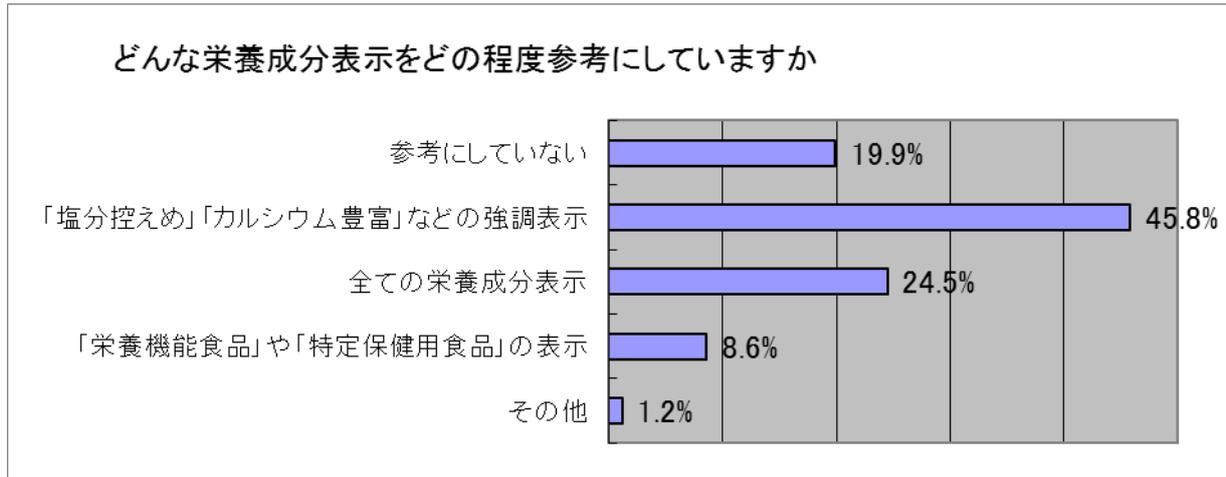
「食品表示（原材料名、原産地、期限表示など）」が最も多い。

【問 14】 問 13 において「食品表示」を選んだ方にお聞きします。食品購入時、特にどのような表示を参考にしていますか。3つまで選んでください。



「消費期限・賞味期限」が最も多い。

【問 15】 食品の購入時、栄養成分表示等をどの程度参考にしていますか。

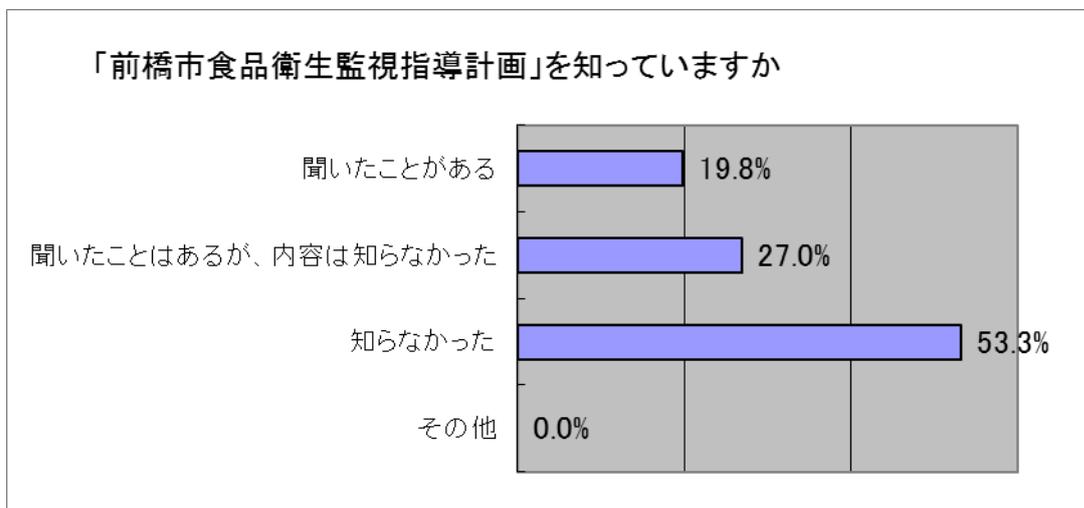


「塩分控えめ」「カルシウム豊富」などの表示が強調されていれば参考にしているが最も多い。

「その他」はエネルギー脂質塩分量、エネルギー、カロリー表示、たんぱく質、ビタミン。

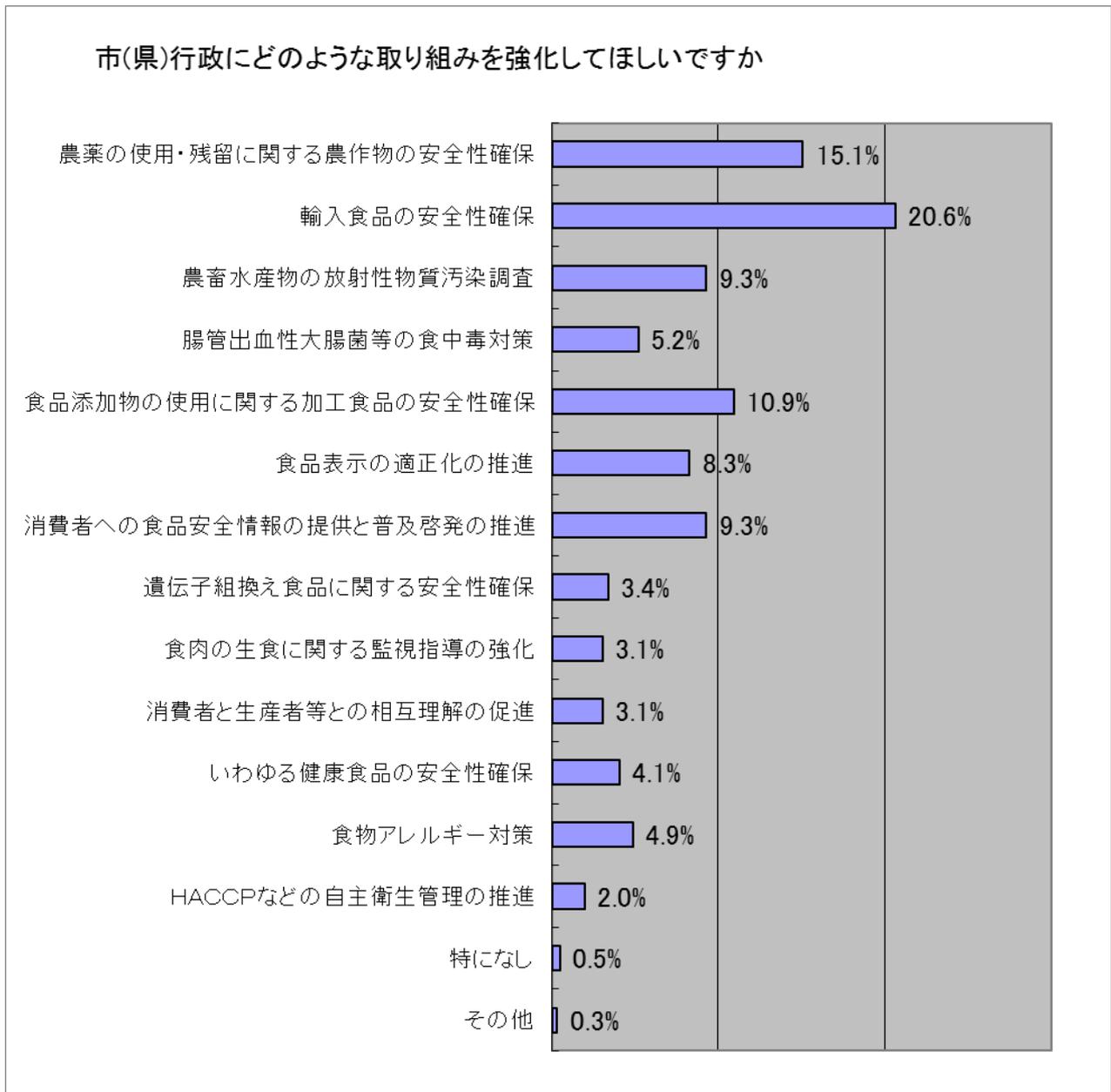
#### (5)保健所の業務について

【問 16】 「前橋市食品衛生監視指導計画」という言葉を聞いたことがありますか。



「知らなかった」が最も多い。

【問 17】市(県)行政にどのような取り組みを強化してほしいですか。3つまで選んでください。



「輸入食品の安全性確保」が最も多い。

「その他」等で寄せられたご意見（ほぼ原文）

- ・小中学生の食育の強化、具体的に食品及び食事の大切さ、相互を組み合わせての食育に取り組んでほしい。
- ・サプリメントの良いところと悪いところ。
- ・食中毒関係の講演会は6月の中旬に行ったほうが良い。
- ・食物アレルギーなどが健康診断でわかるようになれば良いと思う。